

科目コード	S12108	科目名	臨床歯科医学				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	守本 優子						
授業の概要	歯・口腔・顎・顔面に機能障害を持つ患者に対し、言語聴覚士として適切な援助ができるようになるために、歯・口腔・顎・顔面構造と機能について学び、これらの領域における疾患と治療法、機能障害についての知識を習得する。口唇・顎・口蓋裂、咬合異常、顎関節疾患、唾液腺疾患、口腔乾燥症、口腔粘膜疾患などの疾患を扱い、構音・摂食、咀嚼障害に対する手術的療法や補綴治療などの処置について学ぶ。						
DPとの関連	人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						
	言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						
	職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						
	複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）= 修了までに身に付けるべき資質・能力 言語聴覚士に必要な臨床歯科医学的知識を獲得し、歯科医師や歯科衛生士と協働することができる。						
履修上の注意事項	内容が広範囲にわたるため、各回の学習内容について、予め教科書を読み、不明な点を講義で理解すること。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	歯科概論、歯・口腔・顎・顔面の形態・構造・発生・発育（教科書 p 1-28）				教科書予習2時間・復習2時間	
	2	歯・口腔・顎・顔面の機能、口腔の診察法（教科書 p 29-63）				教科書予習2時間・復習2時間	
	3	歯・歯周組織の疾患および歯科医学的処置、口腔ケア（教科書 p 66-92）				教科書予習2時間・復習2時間	
	4	口腔・顎・顔面の先天異常・発育異常・損傷・炎症・感染症（教科書 p 94-119）				教科書予習2時間・復習2時間	
	5	口腔・顎・顔面の嚢胞・腫瘍、唾液腺疾患、神経系疾患、顎関節疾患、口腔粘膜疾患（教科書 p 120-146）				教科書予習2時間・復習2時間	
	6	咀嚼・摂食・構音障害に対する歯科医学的治療法、咀嚼障害（教科書 p 147-180）				教科書予習2時間・復習2時間	
	7	摂食嚥下障害、構音障害の発生メカニズムと特徴（教科書 p 181-231）				教科書予習2時間・復習2時間	
	8	器質性構音障害、口蓋裂・口腔がんへのチームアプローチ（教科書 p 232-268）				教科書予習2時間・復習2時間	
成績評価方法	期末筆記試験80%。講義内容確認のための小テスト20%。 期末筆記試験は、原則、講義の全出席を受験資格とする。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学 第2版【道健一、今井智子、高橋浩二、山下夕香里 編集】（医歯薬出版）					978-4-263-21720-7	
参考書							
教員からのメッセージ	歯科医学の基礎から臨床まで広範囲にわたる内容を、短期間に履修することになるが、歯科的な疾患・機能障害は構音障害と密接な関りがあるため、十分に理解すること。						
教員との連絡方法	講義終了後、教室で。 授業時以外は教務課に連絡してください。						
実務経験のある教員	広島大学病院および診療所において臨床経験のある歯科医師が、実務経験を活かして講義を行う。						